

令和8年度 シラバス

愛媛県宇和島高等学校津島分校

教科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	2	学年	3年	類型	ビジネスコース
教科書	ビジネス基礎（実教出版）			副教材	全商ビジネス計算実務検定模擬試験問題集 2級・1級（実教出版）				

学期	月	単元名	指導項目、内容			重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
						知	思	主	
1 学期	4	第7章 ビジネス計算	1 ビジネス計算の基礎（Ⅱ）	1 割合	乗算・除算・見取算	◎	○	学習のねらい ビジネスにおける実践的・体験的な学習活動を通して、経済社会の持続的な発展を担う職業人として必要な資質や能力を育成します。 ビジネスの各分野を体系的・系統的に理解すると共に、関連する知識や技術を身に付け、職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 職業人として必要な豊かな人間性を育み、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。 学習の目標 ビジネスに関する課題を自ら発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指し、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	
				2 商品の数量と代価	乗算・除算・見取算	◎	○		
	5			3 仕入原価と売価（販売価格）	乗算・除算・見取算	○	◎		
			2 ビジネス計算の応用（Ⅱ）	1 度量衡の換算 2 外国貨幣の換算 3 利息の計算	乗算・除算・見取算	○	◎		
				中間考査			◎		◎
			第6章 ビジネスと売買取引	1 売買取引の手順	1 売買契約とは 2 売買契約条件の取り決め	1 普通計算問題（2級） 2 ビジネス計算問題（2級）	◎		○
	6			3 売買取引の締結 4 売買取引の履行	〃	◎	○		
			2 代金決済	1 現金通貨による決済 2 小切手による決済	〃		◎		○
				3 約束手形による決済 4 銀行振込と口座振替による決済	〃		◎		○
				5 キャッシュレス決済	〃		◎		○
				期末考査			◎		◎
	7	第2章 ビジネスとコミュニケーション	1 コミュニケーション	1 コミュニケーションの役割 2 話し方と聞き方		○			◎
2 学期	9	第4章 さまざまなビジネス	2 ビジネスマナー	1 ビジネスマナーの重要性 2 基本的なビジネスマナー 3 場面に応じたビジネスマナー		○		◎	
			3 情報の入手と活用	1 情報の重要性と扱う際の注意点 3 情報の活用	2 情報の入手方法	○	◎		
			6 情報通信業	1 情報通信業のビジネス 2 情報通信業の種類	1 普通計算問題（1級） 2 ビジネス計算問題（1級）	○	◎		
	10	第5章 企業活動の基礎		3 情報通信業の新たな展開	1 普通計算問題（1級） 2 ビジネス計算問題（1級）	○	◎	評価の観点	
			1 ビジネスと企業	1 企業とは 2 企業組織の種類と運営	〃 中間考査	◎	◎	知識・技能	
				3 経営戦略 4 プロジェクト・マネジメント	〃	○		◎	ビジネスを実務に即して体系的・系統的に理解すると共に、ビジネスの様々な場面で役に立つ基礎的な知識と技術を身に付けている。
			2 マーケティングの重要性	1 マーケティングとは	〃	◎		○	
	11			2 マーケティングの手順	〃	○		◎	
			3 資金調達	1 資金と資金調達 2 資金調達の方法	〃	○		◎	
				3 資金調達に伴う責任	〃	○	◎		思考・判断・表現
			4 財務諸表の役割	1 財務諸表とは	〃	◎		○	企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、ビジネスをはじめとする様々な知識や技術を活用しながら企業が抱える課題を発見し、それらをよりよく解決しようとしている。
		2 利害調整	〃	◎		○			
	12			3 情報提供	〃 期末考査	◎	◎		
			5 企業活動と税	1 税の役割と種類	〃	◎	○		
				2 税の申告と納付	〃	◎	○		
3 学期	1		5 企業活動と税	1 税の役割と種類	〃	◎	○	主体的に学習に取り組む態度	
				2 税の申告と納付	〃	◎		○	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指し、組織内での当事者意識を持つと共に他者との信頼関係を構築しながら、ビジネスの創造と発展に責任感や積極性を持って取り組もうとしている。
				学年末考査			◎	◎	
	2		家庭学習						備考
			〃						
			〃						
			〃						
	3								

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【科目の特色】

- 身近な消費生活に興味・関心を持ち、常に新聞や雑誌、ニュースなどから情報を収集する習慣を身に付ける。
- 計算問題は解けば解くほど、計算能力の技能が向上します。家庭での学習習慣を身に付けましょう。

【授業】

- ビジネス基礎の授業は週に2時間あります。
- ビジネスに対する心構えやマナーを、授業の中でしっかりと身に付けること。まず、挨拶や言葉遣い、
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ① ビジネスマナーの練習を行います。
 - ② 電卓計算問題演習を行います。
 - ③ 教科書の内容を確認して、要点を整理します。
- 覚えた語句を用いて問題を解くことが基本です。
- ノートは、板書に加えて、口頭で示された重要ポイントも記しておく、と、復習する時に役立ちます。

【家庭学習】

- 授業時間内に理解します。後で確認しようなどとは思わず、その時間内で理解し、必要なことは覚えましょう。
- ビジネス基礎の家庭学習は、復習を基本とします。授業で学習した内容は、その日のうちに復習してください。
- 当たり前のことですが、問題集、レポート、感想文などの課題は必ず提出すること。

【定期考査】

- 中間考査、期末考査を実施します。
- 語句の意味、表記などを正確に覚えることが基本になります。
- 電卓を用いた計算問題で技能を測ります。継続は力なりです。毎日の地道な練習を大事にしてください。
- ビジネス計算問題を解答するためには、問題を読む力と思考力が必要です。普段から粘り強く取り組む。

◆評価の方法、基準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ファイル等の整理状況を ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の 三つの観点から総合的に評価します。	
評価の基準	1 学 期	中間考査・期末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)
	2 学 期	中間考査・期末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。) 検定試験への取組姿勢(主に③の観点から評価します。)
	3 学 期	学年末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) 印刷物・ファイルの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の成績を総合的に評価します。